

みんなの ひろば

主な内容

- 理事長あいさつ…………… 1
- 平成29年度新採用職員紹介 …… 2、3
- 松山荘台風被害を乗り越えて …… 4

125号

平成29年5月1日
発行



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

『堅実に改革を行動へと進める』1年へ 職員一人ひとりの個性を事業団の力に！



岩手県社会福祉事業団 理事長
水野和彦

1 昨年度を振り返って

1 台風10号被害を乗り越えて

昨年8月の台風10号により、松山荘が浸水被害を受け、1週間後の9月7日から、内陸部の当事業団の松風園、好地荘及び中山の園で、利用者の皆さんに過ごしていただき、さらに12月7日から、一部利用者の皆さんには、山田町の陸中海岸青少年の家に移っていただきました。そして、この3月に全員が無事に帰宅することができました。

この間、事業団職員の一体となった協力はもちろんのこと、県・市町村・社会福祉協議会、そして地域の皆さんをはじめ、他法人・企業等からの職員支援、物的支援、さらには県外からも物心両面にわたり、ご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

2 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会 と「アール・ブリュットいわて」の開催

昨年10月には、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会が開催され、当事業団においても、大会運営のスタッフや選手団の一員として、参加・支援にと二致団結して取り組んだところであります。

また、本大会の開催と同時に、県立美術館や各選手団が滞在する盛岡・花巻・北上の各ホテルでの障がい者芸術作品の展示や、ブライインドサッカー体験会の開催など、将来の障がい者芸術・スポーツの向上に向けた発展の契機として、今後の事業団の『礎』となったものと思えます。

2 本年度も職員一丸となって

1 「先義後利」の視点で新しいチャレンジ ジとやいなる展開！

- 「アール・ブリュット」関連事業の更なる開催」と次なる展開
- 余暇支援活動の充実や「岩手県社会福祉事業団（課題）支援検討会・発表会」のレベルアップ
- 療育センターの移転、みたけ・中山の改築整備の検討

など、まずは悩みながらの実行の年であり、まずは、岩手県社会福祉事業団がサポートします。

自らが福祉の課題解決に取り組む、地域の福祉向上に向けて、より実効性を発揮できる事業団を目指してまいります。

2 社会福祉法人制度改革への準備を しっかりと！

本年度は、「組織体制の充実強化」、「経営基盤の安定強化」へと本格的に動き出す年であります。

基本は、「安全な施設で安心して利用者の皆さんに日々過ごしていただくこと」です。そのためにも、『福祉の向上と経営基盤の確立』をその両輪として、自律している事業団を目指してまいります。

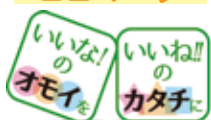
3 事業団の活動を知ってもらおう！

先を見据えた地道な活動で、『いい！のオモイを、いいね!!のカタチに』、そして地域へと伝わる努力を。

事業団の力で未来の種子を育て地域の中で分かち合っていきたいと思います。

2017年度が、より一層良き二年でありますように……。

岩手県社会福祉事業団 ロゴマーク



～岩手県社会福祉事業団がサポートします～

わたしたち岩手県社会福祉事業団は、障がい児・者の支援をはじめとした様々な福祉サービスを、県内において先駆的に取り組んできたという誇りを胸に、今後もサポートを必要とする方々の「あったらいいな!」という思いを実現し、「いいね!!」と感じていただけるカタチあるサービスを生み出すため、職員一丸となって取り組んでまいります。